

(様式3)

平成26年度 高校生キャリア形成事業における
キャリア教育充実プログラム
実施報告書

26松商高第149号
平成27年3月6日

愛媛県教育委員会高校教育課長 様

愛媛県立松山商業高等学校長 大浦 哲雄 印

次のとおり、高校生キャリア形成事業におけるキャリア教育充実プログラムを実施したので、実施報告書を提出します。

1 主題等

主 題	社会的・職業的自立力を育てるキャリア教育の推進
主題設定の理由	実社会と学校のギャップによって生ずる職場不適応等を防ぐとともに、主体的に考えて様々な状況乗り越え、自己の職業的な能力・適性を理解し、たくましく生きて行く力を育てる。
事業実施対象生徒 (小・中・高)	流通経済科 第2・3学年 国際経済科 第2・3学年 情報ビジネス科 第2・3学年 商 業 科 第2・3学年
事業のねらい等	企業等でのインターンシップや体験学習を充実させることにより、ビジネスへの理解を深めさせる。特に、ビジネスの場面に関連付けた指導に努め、実社会と教育の乖離を埋める。また、実社会に役立つキャリア教育を学んでいることを実感させ、生徒に自信と誇りをもたせ、学習意欲を喚起する。

2 実施内容

(1) キャリア教育の全体計画及び年間指導計画についての評価

今年度のキャリア教育の全体計画及び年間計画に基づいて、該当学年の生徒の指導及び保護者への啓発活動を実施することにより、実社会に対応できる生徒の育成に努めることができた。

(2) 就職対策委員会の設置

○就職対策委員会の概要についての評価

就職対策委員会を中心に、関係機関と連携を密にしながら個々の進路実現のために活動し、ほぼ達成できた。今年度は企業の雇用状況も良くなり求人数も追い風となり増加した。

○教員の企業訪問による求人開拓及び企業側の要望調査

訪問時期	訪問企業数	求人確保数	企業の要望
① 5月	2	0	
② 6月	3	0	
③ 7月	2	0	
備			考
教員による求人の開拓は今年度はなし。			

○卒業生の就労調査（全）学科

卒業年月	就職者数	定着者数	不明者数	離職者数	離職率	主な離職理由
平成 26 年 3 月	85	60	21	4	4.7%	労働条件が悪い 他にやりたいことができた
平成 25 年 3 月	80	54	20	3	3.8%	人間関係・労働条件 が悪い
平成 24 年 3 月	69	24	40	5	7.2%	人間関係・結婚
備			考			

(3) ビジネスマナー講座
(流通経済・情報ビジネス・商業・国際経済) 学科

実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	講師数
① 店舗営業の心構え	A	5月	1日	2年	A	119人	1人
② 社会での心構え	F	7月	1日	3年	A	353人	1人
③ 販売員の心構え	A	1月	1日	2年	A	119人	2人
備			考				
①の119人は、③にも参加 ②は流通経済科、情報ビジネス科、商業・国際経済科の3つに分けて実施							

- 注1 対象(小)学科が複数あるときは、学科数分枠をつくること。
 2 位置付け欄には、教育課程上の位置付けで、「A：現場実習等職業に関する教科・科目の中で実施（Cの場合を除く。）、B：課題研究の中で実施、C：学校設定教科・科目で実施、D：総合的な学習の時間で実施（Fの場合を除く。）、E：特別活動で実施（Fの場合を除く。）、F：総合的な学習の時間で実施し、特別活動の学校行事としても読み換えている、G：学校外における学修として実施、H：教育課程には位置付けず実施」の中から該当するA～Hの記号を記入すること。なお、二つ以上に該当する場合は、該当する記号全てを記入すること。
 3 参加形態欄には、原則として当該学年・学科の全員が参加する場合はAの記号を、選択・希望者等当該学年・学科の一部の生徒が参加する場合はSの記号を記入すること。
 4 備考欄には、同じ生徒が複数のビジネスマナー講座に参加する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。
 (例) ②の30名のうち、20名は①にも参加
 5 それぞれの講座の講師（所属）一覧表を添付すること。

(4) 企業等におけるインターンシップ
(流通経済・情報ビジネス) 学科

実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	受入企業数
① ビジネス実習	A	6月	3日	2年	A	119人	43
② イベント実習	G	11月	1日	2年	A	140人	51
③ 現場実習	A	2月	2日	2年	A	119人	5
備			考				
①の流通経済科は、②③にも参加							

- 注1 (3)の注1～3と同じ。
 2 備考欄には、同じ生徒が複数のインターンシップを実施する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。
 (例) ②の30名のうち、20名は①も実施
 3 インターンシップ受入先一覧表をそれぞれ添付すること。

(5) 企業説明会・職場見学会

○企業説明会

(商業・国際経済) 学科

実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	講師数
① 税理士への道	A	10月	1日	2年	A	117人	1人
②							
③							
備 考							

注1 (3)の注1～3と同じ。

2 備考欄には、同じ生徒が複数の説明会に参加する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。

(例) ②の30名のうち、20名は①にも参加

3 それぞれの説明会の講師(所属)一覧表を添付すること。

○職場見学会

(流通経済) 学科

実施内容	位置付け	実施時期	期間	学年	参加形態	人数	講師数
① 日本銀行松山支店	A	6月	1日	2年	A	119人	1人
②							
③							
備 考							

注1 (3)の注1～3と同じ。

2 備考欄には、同じ生徒が複数の見学会に参加する場合、その旨を下記の(例)の要領で記入すること。

(例) ②の30名のうち、20名は①にも参加

3 それぞれの見学会の講師(所属)一覧表を添付すること。

(6) キャリア教育に係る情報発信の概要

- 1 実施内容と生徒の感想等を随時HPに掲載する。
- 2 4月に実施計画書、3月に実施報告書をHPに掲載する。

3 成果と課題

ビジネスマナー講座や企業等におけるインターンシップを経験することにより、販売活動の知識・技術・態度を身に付けることができた。また、地域商店街のイベントに参加・協力することで、地域の人々や、観光客との交流により地域の良さを再発見するとともに、コミュニケーション能力の育成にも役立てることができた。参加した生徒は働くことの大切さとその意味を知ることができ職業観・勤労観の育成に効果があった。さらに、ビジネスの実際と高校教育の開きによって生ずる職場不適応等を防ぐ効果が上がったと思われる。

課題として、今年度の計画段階で参加生徒の学科に偏りがあるので、来年度は企業等におけるインターンシップに商業科・国際経済科の生徒が参加できるように工夫したい。